

# 第5回屈斜路湖OWS大会（案）

～(公財)日本水泳連盟認定OWS大会・サーキットシリーズ第9戦～

- 1 主 催 弟子屈町
- 2 主 管 屈斜路湖オープンウォータースイミング大会実行委員会
- 3 共 催 北海道新聞釧路支社、一般財団法人北海道水泳連盟
- 4 後 援 弟子屈町教育委員会、釧路市、釧路市教育委員会
- 5 協 力 北海道ライフセービング協会、弟子屈消防署、環境省阿寒摩周国立公園管理事務所  
北海道水上安全赤十字奉仕団協議会、医療法人団体信診連遠矢クリニック  
弁護士法人稲澤優法律事務所、日本スイミングクラブ協会北海道支部
- 6 競技会場 北海道上川郡弟子屈町屈斜路湖畔『屈斜路ウォータースポーツ交流公園特設会場』
- 7 禁止事項等 **※以下の対策は、練習会にも摘要します。**
  - (1) 会場の『屈斜路ウォータースポーツ交流公園』は、水難事故及び各種感染防止対策等のため『競技エリア』を立ち入り禁止場所とし、柵・ロープ等で明示しますので絶対に立ち入らないでください。また、選手の荷物預かり等の『支援者』として、『事前申請』により、入場を認めることといたしますので、ご利用をお願い致します。
  - (2) 次の事項に該当する場合は、会場への入場をお断り致します。また、退場していただくことが有りますので、ご協力をお願い致します。
    - ア 全面禁煙  
会場内は『全面禁煙』と致します。大会関係者（選手、帯同・付添コーチ、競技役員、大会役員等）及び一般来場者全員が対象です。
    - イ ADカードの着用  
会場内では、常に「係(色)別ADカード」首から下げて行動してください。対象者は、競技中の選手を除く『大会関係者全員』です。
    - ウ マスク着用は「個人の判断」に委ねることと致します。
    - エ 選手は、自分の競技終了後、速やかに競技エリアから退場してください。
    - オ 競技開始から終了までの間、観戦エリアから離れての入水は禁止致します。
    - カ 実行委員会、施設管理者が定めた、その他の措置・指示に従ってください。
- 8 日 程
  - (1) 8月24日(土)
    - ア 大会出場者前日受付 12時00分～14時00分 ※管理棟横に受付用テントを設置する。
    - イ 練習会受付 12時30分～14時00分 ※湖畔に受付用テントを設置する。
    - ウ 練習時間 13時00分～14時30分 ※300mの直線コース
    - エ 代表者会議兼競技説明会 14時30分～15時00分
      - ① 必ず出席すること。  
やむを得ず欠席する場合は、代理人（連絡担当者等）を出席させてください。
      - ② 会場 『屈斜路ウォータースポーツ交流公園管理棟』前
  - (2) 8月25日(日)
    - ア 選手受付～600mリレーを除く全種目 7時15分～7時45分  
600mリレー受付～ 11時30分～12時00分
    - イ 水温測定・発表 7時20分、7時50分、8時00分、11時00分
    - ウ 開会式 7時45分～
    - エ ウォーミングアップ(参加選手) 8時00分～9時00分
    - オ 招集時間 400m、800mの部 8時40分～9時00分

1 km、2.5 kmの部	9時00分～9時20分	
5 kmの部	9時20分～9時40分	
日本選手権大会トライアルの部	〃	
OWS競技北海道選手権の部	〃	
<u>600mリレーの部</u>	<u>12時20分～12時40分</u>	
カ 競技開始（女子は男子の2分後にスタートします。リレーを除く。）		
400m、800mの部	9時20分	同時スタート
1 km、2.5 kmの部	9時40分	同時スタート
5 kmの部	10時00分	
日本選手権大会トライアルの部	〃	同時スタート
OWS競技北海道選手権の部	〃	同時スタート
<u>600mリレーの部</u>	<u>13時00分</u>	

## 9 競技種目・申込金

- (1) 個人種目 ※「一般の部」には、小学生・中学生・高校生の出場は出来ません。
- |                     |            |                           |          |
|---------------------|------------|---------------------------|----------|
| 400m(男・女)           | 「一般」、「小学生」 | (一般 3,000 円、小学生 2,000 円)  | 定員 100 名 |
| 800m(男・女)           | 「一般」、「中学生」 | (一般 5,000 円、中学生 3,000 円)  | 定員 100 名 |
| 1 km(男・女)           | 「14 歳以上」   | (一般 8,000 円、中高生 4,000 円)  | 定員 50 名  |
| 2.5 km(男・女)         | 「14 歳以上」   | (一般 10,000 円、中高生 6,000 円) | 定員 50 名  |
| 5 km(男・女)           | 「14 歳以上」   | (一般 12,000 円、中高生 8,000 円) | 定員 50 名  |
| 日本選手権大会トライアルの部(男・女) | 「14 歳以上」   | (12,000 円)                | 定員 50 名  |
| OWS競技北海道選手権(男・女)    | 「14 歳以上」   | (12,000 円)                | 定員 20 名  |
- ※14歳は、大会開催年の12月31日現在の満年齢とします。

## (2) 団体種目・600mリレー

- ① 小学生以上の『全員が本大会の個人種目エントリー者』とする。※ADカードが必要。
- ② 一チーム3名+補欠1名で編成すること。
- ③ 男女混合可、クラス無し。
- ④ 申込みの際、チーム名・代表者名・連絡電話（携帯）等を記載してください。
- ④ 申込金・定員 一団体 6,000 円 定員 30 団体

## 10 表彰等

### (1) 個人種目の部

表彰式は行いません。賞状は、競技終了後 30 分を目処に『表彰係』で受け取ってください。

400mの部	一般・小学生	1～3位	男・女	各1名
800mの部	一般・中学生	1～3位	男・女	各1名
1 kmの部	「14 歳以上」	1～3位	男・女	各1名
2.5 kmの部	「14 歳以上」	1～3位	男・女	各1名
5 kmの部	「14 歳以上」	1～3位	男・女	各1名
OWS競技北海道選手権の部	「14 歳以上」	1～3位	男・女	各1名
日本選手権大会トライアルの部	「14 歳以上」	1～3位	男・女	各1名

### (2) 団体種目・600mリレー

制限時間内に完泳したチームに『完泳賞』を贈呈します。『表彰係』で受け取ってください。

## 11 競技方法

- (1) この大会は（公財）日本水泳連盟オープンウォータースイミング競技規則を原則とし、一部ローカル・ルールを適用します。「屈斜路湖OWS安全基準」を必ず一読してください。
- (2) ゴール後、完泳者全員に完泳証を交付します。
- (3) 日本水泳連盟のサーキットポイントは、5 kmの完泳者に付与されます。
- (4) 『北海道選手権の部』及び『日本選手権大会トライアルの部』について
  - ア 水着(男女とも)について
    - ① 水温 18℃以上の場合は、首を覆わず、肩を越えず、足首より下に伸びてはならぬ

い。ただし、この型のOWS競技用水着の素材は、プール競技用水着に適用される他のすべての要件に適合するものとする。

- ② 水温 18℃未満の場合は、ウエットスーツの使用を義務付ける。水温 18℃以上の場合はウエットスーツの着用は認められない。

イ. ウエットスーツ(男女とも)について

胴体、背中、肩、膝を完全に覆うものでなければならない。首、手首、足首を越えてはならない。

## 12 参加資格等

### (1) 共通事項

- ア この競技が、危険で過酷なレースであることを事前に了解しエントリーしてください。
- イ 参加種目の距離を、制限時間内で完泳出来る泳力があり、定期的に水泳練習を行っている心身ともに健康な人であること。
- ウ 既往症（内臓疾患・心臓疾患・呼吸器疾患等）のある人は出場出来ません。また、大会実行委員会が不適当と認める人の出場も出来ません。
- エ 選手の健康を考え、前泊することを条件とします。ただし、近隣市町村で試合前日に十分睡眠が確保される場合は前泊条件に当たらないものとします。
- オ 18歳未満は、保護者直筆の日付、署名入りの参加同意書を提出しなければなりません。

### (2) OWS 競技北海道選手権の部

#### ア 資格

- ① 選手は(公財)日本水泳連盟競技者登録 2024 年度完了者であること。
- ② 選手が所属する団体（チーム）も同様に団体登録が完了していること。
- ③ 選手は競技会がある年の 12 月 31 日現在で満年齢 14 歳以上であること。

#### イ 選手の出身地

- ① 生徒（高等専門学校を含む）及び少年は、居住地を示す現住所地、勤務地、学校教育法第 1 条に規定する学校所在地が、「北海道」であること。
- ② 学生は卒業小学校、中学校、または卒業高等学校の何れかの所在地が「北海道」であること。
- ③ 学生以外の成年は、「居住地を示す現住所地」、「勤務地」、「ふるさと」の何れかが「北海道」であること。

ウ 参加標準記録は設けないが、競泳競技会に出場し、男子は 1500m 自由形、女子は 800m 自由形を完泳していること。

エ 申込方法等は、(一財)北海道水泳連盟のホームページを参照のこと。

### (3) 日本選手権大会トライアルの部 ※2022 年 11 月改訂

- ア 男女各 1～3 位に『2025 年度 OWS 日本選手権 5 km の部』の出場権が付与される。ただし、3 位以内であっても、1 位と 15 分以上の差があった場合は付与されない。
- イ 日本水泳連盟の競技者登録 2024 年度完了者でなくても出場できるが、出場資格を得た後、日本選手権に出場するには、2025 年度の競技者登録が必要。※エントリー期限
- ウ 2024 年度の『日本水泳連盟、OWS 強化指定選手』が、日本水泳連盟の強化事業として出場する場合はオープン選手扱いとし、表彰及び日本選手権出場権付与も対象外となる。
- エ 出場権獲得者は、記録係で「第 101 回 [2025 年度] 日本選手権水泳競技大会 [OWS 競技 5 km の部] 出場権付与通知書」を受け取ってください。

## 13 制限時間

次の時間内にゴールできない場合は、失格となります。

4 0 0 m ～ 1 0 分、8 0 0 m ～ 2 0 分、1 km ～ 2 5 分、2. 5 km ～ 1 時間 1 0 分  
5 km ～ 2 時間 2 0 分、団体リレー ～ 1 2 分

## 14 受付について

- (1) 8 月 2 4 日(土) 「個人種目出場者」の前日受付と練習会の受付を行います。出場選手本人若しくは保護者等の代理人が行ってください。必要により、身分証明書等の提示を求める場合がありますのでご準備ください。
- ア 提出する書類

- ① 参加申込書（個人用） 1 通
- ② 参加申込書（支援者用） 1 通 ※必要により。
- ③ 誓約書 1 通
- ④ 健康問診票 1 通
- ⑤ 参加同意書(18歳未満) 1 通

イ 交付される物等

- ① 選手用ADカード 1 枚 選手名と選手番号が記載されています。
- ② 支援者用ADカード 1 枚 選手名が記載されています。
- ③ スイミングキャップ 1 枚 油性マジックインクを使用し、両側面と選手の両肩に選手番号を記入してください。
- ④ 大会プログラム 1 冊 個人の名前、クラス(一般・中高生・中学生・小生)と種目(400m・800m・1km・2.5km・5km)を確認する。落としても分かるように名前を書いてください。
- ⑤ 参加賞 1 ?

※ 計測バンドは当日の招集時に貸与されます。

(2) 8月25日(日) 「個人種目」と「リレー種目」の受付があります。

ア 個人種目 ※前日に済んでいれば必要ありません。要領は同じです。

- ① 受付時間 7時15分～7時45分
- ② 受付場所 管理棟横に受付用テントを設置する。

イ 団体種目～600mリレー受付

- ① 受付時間 10時00分～10時30分
- ② 受付場所 管理棟横に受付用テントを設置する。

(3) ウォーミングアップ

ア 会場でのウォーミングアップは、当日8時00分～9時00分の時間だけ許されています。水温や水深、透明度、波の状態を確かめるため、全員が行ってください。

イ 着替えは、更衣用のテント(男女別)を利用してください。

ウ 荷物は、帯同・付添コーチに預けるか自己責任で保管し、紛失や取違えのないようにしてください。履き物も同じです。

(4) 招集は(各種目共通)「招集用テント」で行います。

ア その種目の競技開始40分前から行っています。※ADカードを忘れないこと。

イ まず、招集所でADカードを預け、計測バンドを装着します。

ウ スイムキャップ・両肩を見せ、装着状況と番号の確認を受けてください。以上の物を紛失した場合は、競技会に出られないこととなります。

エ 荷物は一切預からないので、帯同・付添コーチに預けるか自己責任で保管してください。

オ その他(負傷事故防止の為)

- ① 手足の爪の長さを整えてください。
- ② 腕時計を含む装飾品(ジュエリー、指輪、ピアス)等の装着を禁止。※自傷他害の恐れ

(5) スタート

ア 各種目共通

- ① 競技開始10分前には、スタート付近の湖岸に番号順に整列し、審判長の指示を受けてください。
- ② 審判長の合図で水に入り、スタートロープの場所に移動します。
- ③ スタート位置は、湖面に直線に張ったロープで、スタートラインとします。
- ④ 位置に着いたら、進行方向を向いて、ロープを背に付けて並び、スタートの合図を待ってください。早く出ると失格になります。合図は「エアホーン」を予定。
- ⑤ 女子は、男子の2分後にスタートしますので、男子のスタート後、急いで男子と同様に並んでください。

イ 400m競技

- ① 「周回板」の前に張ったスタートロープに、背を付けて並んでください。
- ② 大会本部から向かって右側にスタートします。

ウ 800m、1km、5km競技(一般の部、日本選手権トライアルの部、北海道選手権の部)

- ① スタートは、「周回板」の沖側で、大会本部から向かって左側にスタートします
- ② 5kmの競技等で参加者が多い場合は、「日本選手権トライアルの部」の選手を最前列と

し複数列で並びます。

- エ 2.5kmのスタート位置は、第4ターンブイで、ブイから岸側に張ったスタートロープに背を付けて並んでください。大会本部から向かって右側にスタートします。
- (6) コース・周回 ※直線のコースロープは、200m（第4ブイから三角ブイまで）
- ア 400mの競技  
一直線に張られたコースロープの岸側を泳ぎます。スタート後、100m地点の三角ブイを左回り（時計と反対）にUターンし、コースロープの沖側を第4ブイまで200m泳ぎ、第4ブイを左回りに回ってゴールに向かいます。
- イ 800mの競技  
一直線に張られたコースロープの沖側を、第4ターンブイまで100m泳ぎ、第4ブイを左回りにUターンして、コースロープの岸側を第1ターンブイまで300m泳ぎます。そして、第1ブイを左回りにUターンし、第4ブイまで300m泳ぎ、第4ブイを左りに回ってゴールに向かいます。
- ウ 1kmの競技  
800mと同じ場所からスタートし、第4ブイから左回りにコースを一周し、最後に第4ターンブイを左回りに回ってゴールに向かいます。
- エ 2.5km、5kmの競技
- ① 1周800mのコースの各ブイを、2.5kmは左回りに3周+100m、5kmは6周+200m泳いでゴールします。
- ② 一周毎に、「周回板」の下を通過してラップタイムを計測します。  
通過の際は、タッチの必要はありませんが、手(計測バンド)は水面上に出して通過してください。
- ③ 最終周に入る先頭選手には、振鈴による合図を行います。
- オ 支援者は、選手の入水後、退場してください。
- (7) ゴール（各種目共通）
- ア 規定の周回後、「ゴールタッチ板」の下部を「タッチ」して、ゴールになります。
- イ 手は、左右どちらでも構いません。
- ウ 空振りの場合は、戻ってタッチしなければなりません。
- エ 立ち止まっただけのタッチや、歩いて戻ったタッチを認めますが、他の選手の妨害をしないようにしてください。
- オ ゴール直後、競技役員から着順札を受け取って「記録テント」に行き、着順札と計測バンドを外して、返却します。
- カ 同じ場所で、自分のADカードを受け取ってください。

#### 15 団体種目・600mリレー

- (1) 一チーム3名+補欠1名で編成します。男女やクラス区分はありません。
- (2) 受付の際は、「ADカード」と「スイミングキャップ」が必要です。
- (3) 第1泳者100m、第2泳者200m、第3泳者300mの合計600mを泳いでリレーします。
- (4) 競技について
- ① スタート位置は、400mと同じ「周回板」の前です。
- ② 競技中は、必ず自分の「スイミングキャップ」を被ってください。
- ③ 第1泳者は、コースロープの岸側を三角ブイまで100m泳ぎ、第2泳者に引継ぎます。
- ④ 第2泳者は、更に100m泳いで第2ブイを左回りにUターンし、コースロープの沖側を三角ブイまで100mの合計200m泳ぎ、第3泳者に引き継ぎます。
- ⑤ 第3泳者は、コースロープの沖側を第4ブイまで200m泳ぎ、そのブイを左回りに回って「ゴール」まで100mの合計300m泳いでゴールします。
- (5) 引継ぎ要領について
- ① 各引継ぎ場所にはロープを張ります。超えての引継ぎは失格になります。
- ② 引継ぎは、「自前」若しくは「大会側」で用意した「物」を手渡しで行います。投げ渡すと失格になります。
- ③ 「物」は、玩具、ボトル、布等としますが、必ず「水に浮く」、「壊れない」、「怪我をしない、させない」が条件で、泳いでいる間も、「身に付ける」か「持つ」ことが必要です。

- ④ ゴール板をタッチした際は、「物」はスタート時と同じでなければならず、「紛失」していた場合は失格になります。

16 その他

- (1) 会場の『屈斜路ウォータースポーツ交流公園』は、水難事故等を防止するため「立入禁止」場所を設け、競技エリアを柵・ロープ等で明示しますので、絶対に立ち入らないでください。
- (2) このレースは、自然の中で行う競技のため、当日の天候や湖の状況によりコースや進行の時間が多少前後することがあります。  
競技開始時間等はいくまで参考時間となります。招集時間には余裕を持って会場へお越しください。 ※天候や湖の状況により、中止になる場合があります。
- (3) 競技に関する抗議は、そのレース終了後 30 分以内に文書で審判長に提出してください。その際、抗議料 5,000 円を添えて「招集所」に提出してください。抗議の内容を大会総務で検討し裁定します。また、抗議内容が認められた場合は抗議料が返金されますが、認められなかった場合は抗議料は返金されません。

(4) 計測バンドを紛失した場合

- ア 受付後、何らかの事情で参加できなかったときは、受付係に返却するか、下記の業者へ発払いで送付しなければなりません。

返却先：**タイムハック株式会社**

**〒675-1336 兵庫県小野市下大部町 7 7 6 番地 TEL 0794-60-3137**

- イ 紛失または破損で返却できなかったときは、**実費 4,320 円 (税込み)**が請求されます

(5) 車を利用しての来場について

会場は国立公園の一角にあり、駐車場スペースが限られております。車両による来場の際は相乗りする等の協力をお願い致します。また、会場係員の誘導指示に従ってください。

(6) テント類の「持ち込み」禁止について。

「テントの類」の持ち込みは、環境省の許可が必要です。

# 「屈斜路湖OWS」安全基準

## 第1 安全基準(中止基準)について

- 1 レースの中止基準 ～ 次に掲げる条件の場合は中止します。
  - (1) 屈斜路湖の水温が16℃未満の場合。 ※最初の競技開始の2時間前に測定します。
  - (2) 風速が10m以上あるか、それに同等するような白波が立ったり強風が吹く恐れがあり危険と判断された場合。
  - (3) 雨や霧等により著しく視界が悪い場合や、雷などにより選手の安全が確保できないと判断された場合。
  - (4) 台風・地震など自然災害が発生した場合。
  - (5) その他、競技委員長が選手の安全を第一と考え、無理だと判断した場合。
  
- 2 安全対策について
  - (1) レースは、OWS 競技を熟知したライフセーバー及び水上安全赤十字奉仕団の皆様の協力を得水上バイク・レスキューボード・モーターボート等を配置します。
  - (2) 大会本部からコース全体を見渡し、大会本部と各所に配置した係員と常時無線機で連絡を取りながら、警戒に当たります。
  - (3) 競技中は、本部に『医療従事者』が待機します。
  
- 3 競技と中止の判断について
  - (1) この大会は、自然の中で行う競技のため、自然環境の影響を受けることをご了解ください。
  - (2) この大会は、雨天でもレースは決行しますが(公財)日本水泳連盟『安全対策ガイドライン』に従い、地震や台風などの自然災害による高波や強風、異常低温等によってレース実施が不可能と判断された場合は中止となり、その場合に伴う、エントリー料の払い戻しは行いません。
  - (3) 前日から確定される中止・・・明らかに台風が直撃する場合は、前日からフェイスブックで中止をお知らせします。
  - (4) 雨天や風等天候不順の場合・屈斜路湖の波の状況を確認の上、開催、中止の判断を行います。大会の当日、朝6時ギリギリまで天候の回復を待つことがあります。中止が確定した場合、その時点でフェイスブックにてお知らせ致します。

## 第2 競技種目とコース・安全上の制限タイムについて

- 1 種目は、400m、800m、1 km、2.5 km、5 kmと 600mリレーです。なお、天候等の影響を受け、コースや距離が変更になる場合があります。
  
- 2 コース詳細
  - (1) コース長は、1周800mの長方形(長辺300m・短辺100m)です。
  - (2) 湖岸から50m沖(水深1.4m)に第4ターンブイを置き、そこから、長さ200mのコースロープ(競泳用の50mコースロープを4本連結)を湖岸と平行に直線で張り、その端に黄色三角ブイを設置し、その延長線上100mの湖岸から50m沖(水深1.5m)の位置に、第1ターンブイをに置きます。

さらに、第1ターンブイの100m沖(水深3m)に第2ターンブイ、第4ターンブイの100m沖(水深同じ)に第3ターンブイを置き、第2ターンブイと第3ターンブイの直線距離を300mとしました。

- (3) 第4ブイから第1ブイ方向100m(コースロープの湖岸側)に、周回板(ラップカウンター)置き、そこから湖岸側に10m離してゴール板(タッチ板)を置いた。第4ブイとの距離を100mとしました。

### 3 種目別コース概要

#### (1) 400m種目

- ア 「周回板」から2m、第1ターンブイ側にロープを張り、スタートラインとした。  
イ 選手は、スタートラインを背にして並び、大会本部から向かって**右側**(第1ブイ方向)にスタートし、100m泳いで三角ブイを**左回り**(時計と反対回り)でUターンし、コースロープの沖側を第4ターンブイまで200m泳ぎ、第4ターンブイを左に回り、100m泳いで「ゴール板」を叩いてゴールする。

#### (2) 800m種目

- ア スタートは、「周回板」の沖側にロープを張り、スタートラインとした。  
イ スタート後、コースロープの沖側を100m泳いで第4ターンブイを左回りにUターンし、第1ターンブイを目指して100m泳いで「周回板」を通過し、第1ターンブイを左回りにUターンし、第4ターンブイを目指してコースロープの右側を300m泳ぎ、第4ターンブイを左に回り、100m泳いで「ゴール板」を叩いてゴールする。

#### (3) 1km種目

800m種目と同じ場所からスタートし、第4ブイまで100m泳いぎ左回りでコースに入り、第4ブイ→第1ブイ→第2ブイ→第3ブイ→第4ブイと左回りで1周(900m)後、第4ターンブイを左回りして100m泳いでゴールする。

#### (4) 2.5km種目

スタートは、第4ターンブイから岸側に張られたロープとし、コースの外周を左回りで3周(800m×3周=2,400m)後、第4ターンブイを左回りして100m泳いでゴールする。

#### (5) 5km種目

800m種目、1km種目と同じ場所からスタートし、第4ブイまで100m泳いでコースに入り外周を左回りで6周(800m×6周=4,800m)後、第4ターンブイを左回りして100m泳いでゴールする。

#### (6) 600mリレー種目

- ア チームは「3人+補欠1名」、「全員が、個人種目のエントリー者であること。」、「年齢や男女の区分無し」とした。ADカードが必要です。  
イ スタートは、400m種目と同じ場所からとした。第1泳者が100m、第2泳者が200m、第3泳者が300mの合計600mのリレー。  
ウ バトンは、「大会本部が支給する物」及び自前の「水に浮く」「壊れない」「怪我をしない、させない物」を可とした。また、以下の条件を付した。  
① 『物』は、選手が泳いでいる間は、常に「持つ」、「身に付けている」こと。  
② 『中継』は「中継線を越えないこと」、「手渡し」とすること。  
③ ゴールの際『物』を紛失していた場合は、『失格』になること。

### 4 安全上の基準タイムについて

- (1) 本大会は参加者全員が安全にレースを終了するための、安全基準タイムを設けます。  
(2) 安全基準タイム以内でも、指定された時間内にゴールできないと判断した場合は、退水を告知する場合があります。この告知は、湖上では**ライフセーバー**が行います。  
(3) 安全基準タイムをオーバーしても、その参加者が安全、確実にゴールできると競技役員が判

断した場合は、そのままレースを続けることができます。安全タイムによる、途中棄権か続行かの判断はあくまで競技役員に委ねられています。

(4) 本大会の各種目の基準タイムは以下の通りです。

距 離	安全基準タイム	距 離	安全基準タイム
400m	10分以内	2.5km	1時間10分以内
800m	20分以内	5km	2時間20分以内
1km	25分以内	団体リレー	12分以内

### 第3 受付、スタート方法およびゴールについて

#### 1 受付（各種目共通）

##### (1) 提出書類

- ① 参加申込書（個人用） 1通
- ② 参加申込書（支援者用） 1通 ※必要により。
- ③ 誓約書 1通
- ④ 健康問診票 1通
- ⑤ 参加同意書(18歳未満) 1通

##### (2) 交付物

- ① ADカード 1枚 個々の選手番号を記入したADカードを配布します。常時首から下げ外から見えるようにシャツの上に出す。
- ② スイミングキャップ 1枚 色別、種目別・男女別（Fサイズ）を配付します。その場で両側に「ADカード」と同じ番号を記入する。黒色油性マジックインクを使用
- ③ 計測バンド 2個 選手番号を表示した計測バンド(腕時計型)を2個付ける  
※ゴール後直ちに返納します。  
左右の手首にしっかりとしっかりはめてください。  
ゆるく、動く場合は、テープを巻いて固定する。  
※紛失等の場合は、実費弁償しなければなりません。
- ④ その他 両肩に選手番号を記入します。※黒色の油性マジック。

#### 2 招集（種目別）

- (1) ADカードを預ける。 ※ゴール後返却されます。
- (2) 計測バンドの固定状態と選手番号を確認する。 ※ゴール後返却する。
- (3) スイミングキャップと両肩の選手番号を確認する。
- (4) 手足の爪の長さを確認し、不揃い場合は整えて貰う。
- (5) 腕時計を含む装飾品(ジュエリー、指輪、ピアス)等の装着を禁止。 ※自傷他害の恐れ
- (6) 荷物は一切預からないので、帯同・付添コーチに預けるか自己責任で保管させる。

#### 3 スタートは、コースロープを背にして水中スタート方式を採用します。

- (1) 種目別に男女時差スタート、出場者30名までを一斉スタートとします。制限を超えた場合には選手の安全確保のため、列を増やす等(分割スタート)とします。分割スタートについては、会場の状況により競技委員長が判断します。
- (2) スタート合図は、エアホーンで行います。
- (3) フライングは1回で失格となります。レースのやり直しは行いません。

#### 4 途中棄権等

競技中にアクシデントが発生した場合は、直ちに、手を挙げて近くのライフセーバー等に助けを求めてください。疲労等による場合も同様です。

## 5 周回・ゴール

- (1) 周回は、湖上に設けた「周回板」の下を通過することにより自動的にカウントされます。ただし、タッチの必要はありませんが、手(計測バンド)は水面上に出して通過してください。
- (2) ゴールは、「ゴールタッチ板」の下部を、左右どちらかの手の平でタッチしてゴールになります。空振りの場合は、歩いて戻ってタッチをしなければなりません。また、立ち止まっただけのタッチも認めません。
- (3) ゴール後、競技役員が「着順札」を渡します。必ず受け取ってください。
- (4) 着順札は、そのまま記録テントに持って行き、着順確認と計測バンドの返却を行います。

## 第4 完泳証

当日競技終了後、記録が確定した時点（異議申し立ての制限時間(30分)経過後)で、完泳された方全員に完泳証をお渡しします。郵送希望のお申し出がない限り、当方からの郵送はいたしません。郵送のご希望は別途有料(1,000円)にて受付ます。大会本部にお申し出ください。

## ■ 注意事項 ■

- ・ 万一事故が起きても、主催者は一切責任を負いません。事故のないよう安全第一で出場すると共に、体調管理に万全を期してください。急病・傷害・死亡・器物破損・置き引き盗難等は、全て参加者の責任となります。
- ・ 参加料は、いかなる場合（申込後のキャンセル、当日の不参加、天災・災害等での途中での大会中止等）でも返却しませんので、ご了承の上お申し込みください。
- ・ 大会前日および大会当日の進行状況に関わらず、大きな事故が発生した際には、それ以降の大会を中止させて頂きますのでご了承ください。また、この場合も参加料の返却はありません。
- ・ 宿泊の予約に関しては、主催者は一切責任を負いません。予約後のキャンセルの場合、または当日不参加の場合、あるいは天災等で止むを得ず開催できない場合等の宿泊キャンセルに関しては、各宿泊施設の規定に従って頂くこととなります。
- ・ 本大会参加に関しては、自然が相手と言うこともあり十分にトレーニングを積み、事前に個人で健康診断を受診する等体調には万全の配慮で自己責任の上で出場してください。
- ・ 既往症（内臓疾患・心臓疾患・呼吸器疾患等）のある人は医師の許可を必要とします。
- ・ スポーツ中の突然死では、睡眠不足や飲酒がその原因の一つとも言われています。大会前日には十分な睡眠を取り、飲酒を控えるようにしてください。
- ・ 主催者側で参加者を対象に傷害保険に加入しますが、必要な方は、あらかじめご自分の責任で保険等にご加入してください。
- ・ 年齢・性別等の虚偽申告や申込者本人以外の出場（不正出場）は認めません。不正出場が判明した場合、出場が取り消されるばかりでなく、今後の本大会への申込自体ができなくなる場合があります。



